

作成日 2014年02月25日
改訂日 2017年12月01日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	プライア水和剤
整理番号	3019-06
供給者の会社名称	北興化学工業株式会社
住所	〒103-8341 東京都中央区日本橋本町一丁目5番4号
担当部門	企画部 環境安全チーム
電話番号	03-3279-5151
FAX番号	03-3279-5195
緊急連絡電話番号	03-3279-5151
推奨用途及び使用上の制限	農薬(殺菌剤)

2. 危険有害性の要約 GHS分類

物理化学的危険性	自己反応性化学品 区分外 自然発火性固体 区分外 水反応可燃性化学品 区分外 酸化性固体 区分外
健康有害性	有機過酸化物 区分外 急性毒性(経口) 区分外 急性毒性(経皮) 区分外 急性毒性(吸入) 区分4 皮膚腐食性及び皮膚刺激性 区分外 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 区分外 皮膚感作性 区分1 生殖細胞変異原性 区分外 発がん性 区分外 生殖毒性 区分外
環境有害性	特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分2(神経系) 水生環境有害性(急性) 区分1 水生環境有害性(長期間) 区分1 上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語	警告
危険有害性情報	H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ H332 吸入すると有害 H371 神経系の障害のおそれ H410 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

注意書き 安全対策

粉じんを吸入しないこと。(P260)
取扱い後はよく手を洗うこと。(P264)
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。(P270)
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。(P271)

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。(P272)
 環境への放出を避けること。(P273)
 保護手袋を着用すること。(P280)
 皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。(P302+P352)
 吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340)
 ばく露又はばく露の懸念がある場合、医師に連絡すること。(P308+P311)
 気分が悪い時は、医師に連絡すること。(P312)
 特別な処置が必要である。(P321)
 皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。(P333+P313)
 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。(P362+P364)
 漏出物は回収すること。(P391)
 施錠して保管すること。(P405)
 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)
 情報なし
 情報なし

応急措置

保管
 廃棄

他の危険有害性
 重要な徴候及び想定される非常事態の概要

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別
 化学名又は一般名

混合物
 ジェトフェンカルブ・ベノミル水和剤

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法番号	安衛法番号	
イソプロピル 3,4-ジエトキシカルバニラート (別名 ジェトフェンカルブ)	25.0%	C ₁₄ H ₂₁ N O ₄	-	4-(6)-321	87130-20-9
メチル-1-(ブチルカルバモイル)-2-ベンゾイミダゾールカーバメート (別名 ベノミル)	25.0%	C ₁₄ H ₁₈ N ₄ O ₃	-	8-(2)-1345	17804-35-2
(メチル=ベンゾイミダゾール-2-イルカルバマート (別名 カルベンダジム))	(1.0%以下)	C ₉ H ₉ N ₃ O ₂	(5)-465	8-(2)-746	10605-21-7
(トルエン)	(0.25%以下)	C ₇ H ₈	(3)-2	(3)-2	108-88-3
(アルキルベンゼンスルホン酸)	(1.2%以下)	-	-	-	-
その他	50.0%				

分類に寄与する不純物及び安定化添加物 情報なし

4. 応急措置

吸入した場合
 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
 気分が悪いときは、医師に連絡する。

皮膚に付着した場合
 多量の水と石鹼で洗う。
 皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受ける。

眼に入った場合
 水で数分間注意深く洗う。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。

飲み込んだ場合 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症 状 応急措置をする者の保護 医師に対する特別な注意事項	眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受 ける。 直ちに医師に連絡する。口をすすぐ。 情報なし ばく露による二次災害の防止。 情報なし
5. 火災時の措置 消火剤	粉末消火薬剤、泡消火薬剤、二酸化炭素、砂、霧 状水 使ってはならない消火剤 火災が周囲に広がるおそれがあるため、直接の棒 状注水を避ける。 特有の危険有害性 特有の消火方法 火災時に有害ガスが発生するおそれがある。 消火作業は風上から行う。 火元への燃焼源を断ち消火剤を使用して消火す る。 周辺火災の場合、周囲の設備などに散水して冷却 し、移動可能な容器は速やかに安全な場所に移動 する。 消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす 物質が流出しないよう適切な措置を行なう。 消火作業の際は、空気呼吸器、化学用保護衣を着 用する。
6. 漏出時の措置 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措 置 環境に対する注意事項 封じ込め及び浄化の方法及び機材 二次災害の防止策	屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行 う。 漏出した場所の付近に、ロープを張るなどして関係 者以外の立入を禁止する。 作業者は適切な保護具(『8. ばく露防止及び保護 措置』の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や 吸入を避ける。 河川等に排出され、環境へ影響を起こさないよう に注意する。 少量の場合は、電気掃除機、ほうき等で掃き集め る。火花を発生しない安全な用具を使用する。 大量の場合は、漏出したものをすくいとり、又は掃 き集めて、紙袋またはドラム缶等に回収する。 回収後の少量の残留物は、土砂またはおがくず等 に吸収させる。 すべての発火源を速やかに取除く(近傍での喫 煙、火花や火炎の禁止)。
7. 取扱い及び保管上の注意 取扱い	技術的対策 『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策 を行い、保護具を着用する。 安全取扱注意事項 周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止す る。 接触回避 衛生対策 『10. 安定性及び反応性』を参照。 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしな いこと。 取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをするこ と。 作業衣を家に持ち帰ってはならない。
保管	安全な保管条件 冷所、換気の良い場所で保管すること。 容器を密閉して保管すること。

安全な容器包装材料 国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度 (産衛学会)	許容濃度 (ACGIH)
イソプロピル 3,4-ジエトキシカル バニラート (別名 ジエトフェンカルブ)	未設定	未設定	未設定
メチル-1-(ブチルカルバモイル)- 2-ベンゾイミダゾールカーバマート (別名 ペノミル)	未設定	未設定	TWA 1 mg/m ³ (I), STEL -
メチル=ベンゾイミダゾール-2-イ ルカルバマート (別名 カルベンダジム)	未設定	未設定	未設定
トルエン	20ppm	50ppm(188mg/m ³)(皮)	TWA 20 ppm, STEL -
アルキルベンゼンスルホ ン酸	未設定	未設定	未設定

設備対策

取扱いについては、出来るだけ密閉された装置、
機器または局所排気装置を使用する。
取扱い場所の近くに、目の洗浄及び身体洗浄のた
めの設備を設置する。

保護具

呼吸用保護具	防じんマスク
手の保護具	保護手袋
眼の保護具	保護眼鏡(側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)
皮膚及び身体の保 護具	保護服、保護長靴

9. 物理的及び化学的性質

外観

物理的状態
形状
色

固体
粉末
類白色
情報なし
5.3(×5)
データなし
データなし
データなし
データなし
0.19(見掛け比重)
データなし

臭い

pH

沸点、初留点及び沸騰範囲

引火点

燃焼又は爆発範囲

蒸気圧

比重(密度)

自然発火温度

10. 安定性及び反応性

反応性

化学的安定性

危険有害反応可能性

避けるべき条件

情報なし
通常の貯蔵・取扱いにおいて安定である。
情報なし
加熱や燃焼により分解し、有害ガスが発生するお
それがある。
情報なし
通常の条件下では生成しない。
加熱や燃焼により分解し、有害ガスが発生するお
それがある。

混触危険物質

危険有害な分解生成物

11. 有害性情報

急性毒性

経口

ラット(雌) LD₅₀ > 2,000 mg/kg

皮膚腐食性及び皮膚刺激性 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 呼吸器感受性又は皮膚感受性 生殖細胞変異原性 発がん性 生殖毒性 特定標的臓器毒性(単回ばく露)	経皮 ラット(雄) LD ₅₀ > 2,000 mg/kg ラット(雌) LD ₅₀ > 2,000 mg/kg 皮膚刺激性試験(ウサギ) : 刺激性なし 眼刺激性試験(ウサギ) : 軽度の刺激性あり 皮膚感受性試験(モルモット) : 陽性(陽性率65%) データなし データなし データなし ラット急性経口毒性試験において、1500mg/kg以上の投与で、自発運動減少、歩行失調、呼吸不規則、立毛などの神経毒性が認められた。マウスにおいても同様な症状および筋攣縮が認められた。(ジエトフェナルブ原体) 動物試験において、神経系が標的と考えられる症状がみられた。これらの影響は区分2に相当するガイドランス値の範囲でみられた。(ペナルブ原体) データ不足により分類できない。 データなし
---	--

特定標的臓器毒性(反復ばく露)
 吸引性呼吸器有害性

12. 環境影響情報

生態毒性	魚類 : コイ LC ₅₀ (96h) 20 mg/L 甲殻類 : オオミジンコ EC ₅₀ (48h) 0.71 mg/L 藻類 : 緑藻 ErC ₅₀ (0-72h) 81 mg/L
------	--

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 汚染容器及び包装	廃棄に当たっては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 容器は関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。
-----------------------	---

14. 輸送上の注意

国際規制 海上規制情報 IMO	UN No. 3077 Proper Shipping Name ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID, N.O.S. Class 9 Sub Risk - Packing Group III Marine Pollutant Applicable
MARPOL 航空規制情報 ICAO/IATA	UN No. 3077 Proper Shipping Name ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID, N.O.S. Class 9 Sub Risk - Packing Group III Marine Pollutant Not Applicable
国内規制 陸上規制情報	該当しない。
海上規制情報 船舶安全法	国連番号 3077 品名 環境有害物質(固体) 国連分類 9 副次危険 -

航空規制情報	容器等級	Ⅲ
航空法	海洋汚染物質	該当
特別の安全対策	国連番号	3077
緊急時応急措置指針番号	品名	環境有害物質(固体)
	国連分類	9
	副次危険等級	-
		3
		輸送に際しては、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。
		171

15. 適用法令

農薬取締法	登録番号	第22922号
化学物質排出把握管理促進法	第1種指定化学物質	ベノミル、トルエン、アルキルベンゼンスルホン酸
労働安全衛生法	第2種指定化学物質	カルベンダジム
船舶安全法	表示対象物	ベノミル
航空法	通知対象物	ベノミル、トルエン
		有害性物質
		その他の有害物件

16. その他の情報

引用文献	住友化学株式会社	プライア水和剤 製品安全データシート 作成日2011年4月26日版
記載内容の問合せ先	会社名	北興化学工業株式会社
	担当部門	企画部 環境安全チーム
	電話番号	03-3279-5151
	FAX番号	03-3279-5195

急性中毒に関する緊急の問合せ先

公益財団法人 日本中毒情報センター(事故に伴い急性中毒のおそれがある場合に限る)

中毒110番 一般市民専用電話 (大阪) 072-727-2499(情報料無料)
365日 24時間対応

(つくば) 029-852-9999(情報料無料)
365日 9~21時対応

医療機関専用有料電話 (大阪) 072-726-9923(1件2,000円)
365日 24時間対応

(つくば) 029-851-9999(1件2,000円)
365日 9~21時対応

医療機関の方が一般市民専用電話を使用された場合も、情報料 1件につき2,000円を徴収します。

注意事項

本データシートは作成年月日での製品情報を記載しておりますが、すべての情報を網羅しているものではありません。新たな情報を入手した場合には追加又は訂正されることがあります。記載されている内容は、安全な取扱いを確保するための情報であり、いかなる保証をなすものではありません。特殊な条件下で使用するときは、その使用状況に応じた安全対策が必要となります。